

ネットはつなぐ!?

1 主 題 インターネットの使い方を考えよう

2 主題・教材について

ICT (information and communication technology: 情報通信技術) の発達により、社会の有り様が大きく変化した。これまでの想定を遥かに超え、時間・空間を超越した人間関係が生み出されている。それにより、人類の暮らしはより豊かなものへと高められている。しかし、その一方で、インターネットや*チャットなどを使った新しい形態のいじめが発生するなど、様々な問題も生じ、その内容も深刻化している。

この教材は、ICTの有効性と弊害について考えるものである。まずは人と人をつなぐ活用の仕方について話し合わせたい。その上で、活用の仕方をまちがえると自分や他者を縛りつけ、苦痛を強いるものとなることに気づかせたい。また、その縛りつけるものは技術ではなく、それを活用している人間のあり方によるものと気づくことから、自らの暮らしぶりを見つめ、自制する方法について話し合わせたい。

人を大切にすることを基盤とし、ICTを通じた適切な人と人とのつながりを保つスキルを身に付け、子どもたちが豊かな暮らしの創造者となることを目指したい。

(関連教科・領域: 技術・家庭、特別活動)

- ## 3 ねらい
- ・ ICTは、賢く活用することで、暮らしを豊かにするアイテムとなることを確認する。
 - ・ 情報モラルを正しく理解し、自らの暮らしを豊かにするためのICTの活用方法を身に付ける。

4 展開例

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	普段どのようにインターネットを使っているだろう。		
	・ 普段の生活の中でのインターネットの利用状況をふり返る。	・ 日常的に様々な方法でインターネットを利用していることを押さえる。	
展開	インターネットの利点について考えよう。		
	・ 第1の事例(P.78)を読み、もらってうれしかったメールや出して喜ばれたメールについて発表する	・ メールは、相手を思いやる気持ちをもって活用すれば人間関係づくりにおいて有効なアイテムとなることに気づかせたい。	
	メールやチャットのやりとりで困ることについて考えよう。		
	・ 第2の事例(P.80)を読み、自身の経験と重ねて意見を交換する。 ・ チャットによる会話と対面による会話の違いを考える。	・ 自身が同様に困った体験を出させたい。 ・ チャットは対面しないので場の雰囲気等を感じ取りにくく、断りたくても断りにくいという特徴があることに気づかせたい。	
	・ この事例に対して、どのような対応をすべきかを話し合う。	・ 自分たちのチャット活用のルール作りにつなげる。	
開	ネットいじめについて考えよう。		
	・ 第3の事例(P.81)を読み、感想を出し合い、「私」が学校に行きづらくなった原因はどこにあるかを話し合う。	・ インターネットは単にコミュニケーションのための道具であって問題の原因ではないこと、問題の本質はグループの中に同調することを強要する雰囲気があり、多様性を認めず異	

展 開	この事例のようにならないためには、どうすればよいのかを話し合う。	を唱える人を排除しようとする人間関係にあることに気づかせる。 ・「5 こんなとき、どうする!？」にながて展開することもある。 ・チャットなどで「悪口」を書き込むと、それがエスカレートしてブレーキをかけられなくなる危険性のあることを押さえる。 ・互いのもちあじや違いを認め合う人間関係を築こうとすることの大切さに気づかせたい。	「5 こんなときどうする」
ま と め	学習をふり返ろう。 学習をふり返り、豊かな暮らしを創っていくため、インターネットをどのように活用していくかについての意見を発表する。		

※チャット

インターネットを含むコンピュータネットワーク上で、2人以上の相手とリアルタイムで短いメッセージをやり取りするシステムやサービスのこと。（chat：雑談）